

小中高生のための

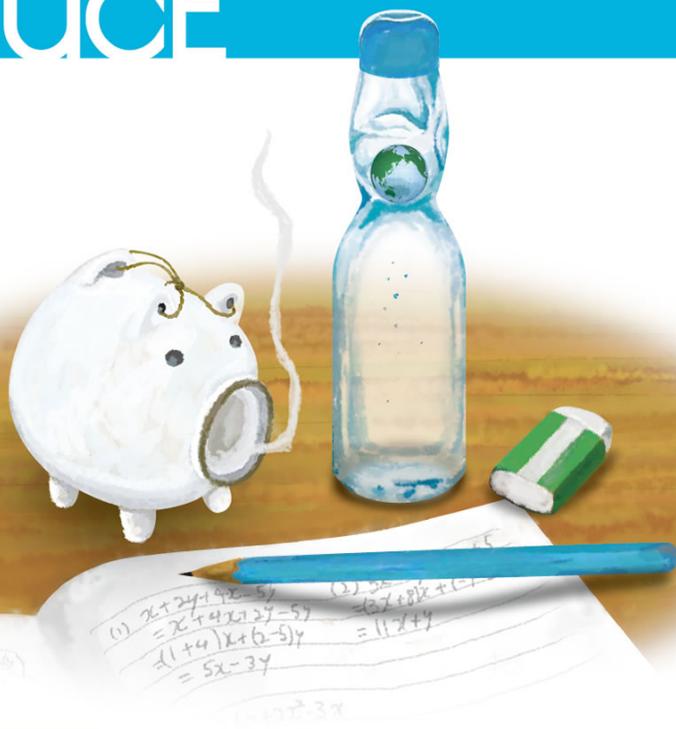
教育情報誌

エデュース
Educe

2017

8/9月号

vol.02



巻頭インタビュー

「公立中高一貫校を考える(中)」

前諏訪清陵附属中学校校長 石城先生 — 1

「おしょうさんの徒然コラム」

こんなヒトコトに
振り回されていませんか? — 3

「校長インタビュー」

いずみ塾 甲府池田校・駒ヶ根校 — 4

「この問題解けますか?」 — 5

「地元発!全国へ世界へ」

科学者 西村真琴 — 6

～諏訪清陵附属中の最初の 3年から～

公立中高一貫校を考える(中)

2回目 / series 3

前 清陵附属中学校長

石城正志先生

いしがき まさし

長野県・諏訪エリアにある公立の中高一貫校、諏訪清陵高校附属中学。

石城正志先生は昨年度まで校長として見守り、1期生を高校へ送り出しました。

先生の目に見えた生徒たちの3年間とは一。

さらなる学習の場の提供へ向けて

校長として赴任するにあたって、一貫校だからという特別な想いはあったのだろうか。

「教頭時代に一貫校の枠組み作りに関わっていたので、どういう一貫校であるべきかの根本の理念を固め、それを実現する中高一貫校にしなければという想いは強くあった。一番大きな特長は、高校で附属中の生徒を（一般受験して入ってくる生徒と）ミックスさせる選択をしたこと。それがマイナス要素でなく長所になりうることを実現することに尽力し



た」。重点は、「先取りを行わずに何をさせるか」で、「その中身が子どもたちや親御さんたちを幻滅させることはなかった」と確信しているという。

現在、『清陵ネット』の成功に向け、取り組んでいる一面もある。清陵の教員と生徒だけが入れるネット空間があり、そこに授業等で疑問に思ったことを書き込み、それに対する意見や答えを自由に他者が参加してやり取りしていく仕組みだ。時には根本的な問題も出てきて、みんなで議論しても結論が出ないことも起こりうる。しかし長い間かけて議論するほどの内容なら、それは課題探究のテーマが育っていくということの意味する。だから日々の授業は疑問を解決する場でなく、疑問を生み出す場ととらえ、そうした想いを広げ、踏まえていける機会の提供を目指しているという。「将来うまく機能していけば、



石城 正志

いしがき まさし

平成 21 ~ 23 年度に清陵高の教頭として開校に向けて携わった清陵附属中に、初年度から校長として赴任。第 1 期の附属中生を今春、高校へ送り出した。現在、茅野高の再任用教諭。講話を拠点とする民俗学等の研究会「スワニミズム」など、地域の活動にも多数取り組んでいる。

やることも必要なのではないかと。そういう部分が満ちていて初めて、中学生としての勉強に向かえるのではと思う。

もっといえば、「運動も遊びも必要に応じて積み重ね、自分の体をコントロールできるようになっていることは、頭が良くなる土台であるはず。だから跳び箱が飛べないとか前転ができないとかいうことがあると、今後学習していく中でどこかで限界が来てしまうのでは」と危惧しているという。

校長時代、附属中の入学前の 1 月のオリエンテーションでは、「(入学まで) 残り 2 か月だが、受験に時間を費やして、子どもたちがやり損ねたと思っているものがあるなら、この期間にぜひやって (やらせて) ほしい」と毎回言っていたと語る。(次号につづく)

今までになかった学習の場が生まれていく」と自信をのぞかせる。

生徒たちを日々見守り、感じたこと

附属中の生徒たちをこれまで見てきて一番強く感じるの「遊びが足りていない」という想いだそうだ。「ここには年間に 100 冊も本を読んでいたような生徒も多い。ということは間違いなく(屋外等で)遊んだ経験が絶対的に足りていない。実際、学活の時間にドッジボールをやらせたら、ルールもよくわからないようだった。運動や体の動かし方は、人間の発達においてとても大切なことなので、入学してからでも、小学生がやるような遊びを本気で





教育コーチ おしょうさんの
徒然コラム

2nd

こんなヒトコトに 振り回されていませんか？

01

わかってる

「勉強しなさい」「これまちがえてる
じゃない」に対するイワケ

お子さん自身の学習意欲が少しずつなくなってきているときに、出やすい言葉です。お子さんにとって、実際は、わかっていないのに、つい言ってしまう一言です。

02

わかんない

考えていない、実行していないときの
イワケ

学習内容がわからないことをイワケにしたくない場合にも使われます。何がわからないのか聞いてあげてください。「全部！」と答える可能性もあります。その場合でも、具体的に何がわからないのか一つずつ粘り強く聞いてあげてください。

03

やりかたが、わかんない

「わかんない」の変化形

自分が学習に対して前向きではあることをアピールはするが、実際は何もしていない場合がほとんどです。やりかたがわからないから、うちの子は勉強ができない・テストで点数が取れないと、保護者が勘違いをしないことです。授業中ノートをとっているか、教科書など家庭学習に必要な教材を学校に置きっぱなしにしているか、配付プリントをファイルしているか、テスト範囲表は手元にあるか、など、チェックが必要です。

04

どうしていいか、わかんない

「わかんない」の最上級；対応は2つ

- ①ただ単に何もしていない状況を表現している場合のイワケ。落ち着いていろいろ聞いてあげてください。
- ②本当に困っている場合の言葉。お子さんの悲鳴です。即、対応してください。ただし、矢継ぎ早の質問は危険です。じっくり、時間をとって聞いてあげてください。

NEXT

次回は、お子さんが学習に関してよく言うヒトコト その2です。



教育コーチのおしょうさん
(ベルーフアカデミー/鈴木崇仁)

株式会社アイキューブ(旧いずみ書房株式会社)に2000年に入社。以来、ずーっと現場一筋で、数多くの塾生、保護者と出会ってきました。その数、およそ1万人。そこから学んだこと、気づいたことを紹介していきます。

辛党だが口から出るのは火ではなく歌曲！

小学校のころ合唱団に所属。“ほめられて調子に乗った”ことで、中学・高校とずっと合唱部。大学も音楽教育が専門だった。その甲斐あってイタリアやドイツの歌曲を原語で歌えるという。極端な辛党で、こちらの専門は七味唐辛子。学生時は公演前に“辛いもの絶ち”をするなど、のどを大事にしたり節制していたが、今はのびのびと牛丼を真っ赤に染め上げている。教育に関する関心は高く、幼稚園から高校までの教員免許を制覇。「幅広い年代の生徒と同時に触れ合えるから」と塾の道を選んだ。未来を背負って立つその成長に関わることで、自分なりに日本の将来の一端を担える—そう信じて日々生徒たちと向き合っている。



We are on. 【校長インタビュー】

各校舎を背負って立つ校長の横顔とは…。
普段生徒たちと接しつつ、
声に出していることから出していないことまで。
それぞれの人柄に迫ってみました！
本当はいったい何を考えている？！

キャリアを重ねて いつしか「お爺ちゃん」に

いずみ塾で教育に携わって 10 年以上。かつては生徒たちに「お兄ちゃん」と慕われたものの、今や「お爺ちゃん」と言われることも（それでもまだ若い！）。そのせいか「きちんと座る」「姿勢を正しくする」など、勉強を教えるのと同じくらい“しつぺな側面”の指導にも力が入るといふ。

「自分の限界を決めてしまわないでほしい」と、1人ひとりの可能性を信じ、その広がりを支援できるよう日々生徒たちと接している。そんな毎日の隙間で、「豪華客船で世界一周」という大きな野望実現の時を虎視眈々と狙っている。本人いわく「こう見えて、体調不良で仕事を休んだことがない」そうだ。





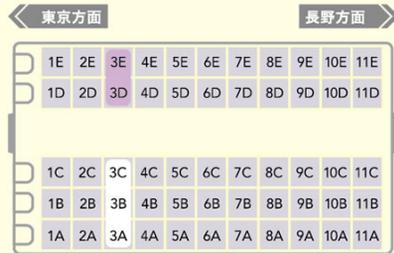
この問題 解けますか？

前回に続き、今回も数学から出題です。

日常生活を題材にした問題は、どこかで役立つかもしれませんね。

長野新幹線の車両の座席は、グリーン車を除き、東京方面に向かって、左側3列、右側2列に配列されている。

大人2人と子ども3人の計5人が3A~3Eの席に並んで座る。子ども3人が3A、3B、3Cの席に座り、大人2人が3D、3Eの席に座るとき、座り方は全部で何通りあるか求めなさい。



答えは次号

前回の答え

No. 01

長野県の公立高校入試の問題です。単純な体積の問題ではないですが、実際の長さがわからなくても、文字で置けば答えが出てきます。

小学生のみんなにも解ける問題ですよ。

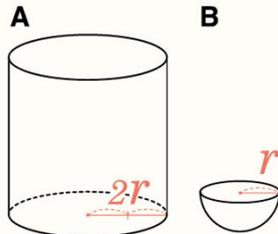
Bの半径を r とすると、Aの底面の半径は $2r$ とおける。

Bは、半球の体積。Aは、円柱の体積。それぞれ求めると、Bは、 $\frac{2}{3}\pi r^3$ 。Aは、 $16\pi r^3$ 。

$A \div B$ で、何杯入るかがわかる。

よって、答えは、24杯。

A. 24杯



A 円柱の体積 \div B 半球の体積



画像提供：松尾宏、大阪市立科学館

未来へつなぐ想いを 表情やしぐさに込めて

科学者／西村真琴
にしむら まこと

日本は今や世界をリードするロボット大国。産業用だけでなく、人間の姿をして話しかけるなど様々なタイプを生活の中で見かけるようになりました。人工知能 (AI) の技術も含め、どんどん進歩しているロボットですが、日本で初めて人間型ロボットを制作したのは、長野県出身の西村真琴 (1883-1956) です。

西村真琴は東筑摩郡里山辺村 (現・松本市) の生まれ。旧制松本中学 (現・松本深志高) で学び、自然科学を志して生物学者となり、北海道大学教授になりました。その後、科学エッセイ執筆を機に退職し、大阪毎日新聞に入社します。この間、日本で初めてのロボット「学天則 (がくてんそく)」を制作。昭和天皇即位を記念した京都博覧会に出品し、日本中に衝撃を与えました。少し難しいですが、生物の体内で起こる様々な働きが次第にわかってきた時代背景を受け、「同じような状態を人工的に作り出すことも可能なのでは」との想いが、制作のベースにあったようです。

「学天則」は高さ約 3.5m、幅が約 3m。大きな机に金色の人形が座っており、顔はあらゆる人種の表情を組み合わせてデザインされています。右手にペン、左手にライトを持ち、チューブによる空気圧の変化を動力にして腕を動かしたり表情を変えたりします。また上部についた機械仕掛けの鳥が鳴くと瞑想を始め、ひらめきを得ると左手のライトが光って右手のペンで文字におこすそうです。「学天則」は「天則 (= 自然) に学ぶ」の意味で、日本初であると同時に東洋初のロボットでした。西村博士は「世界平和への願い」「科学の暴走の危険性への危惧」などいくつものメッセージを込めていました。

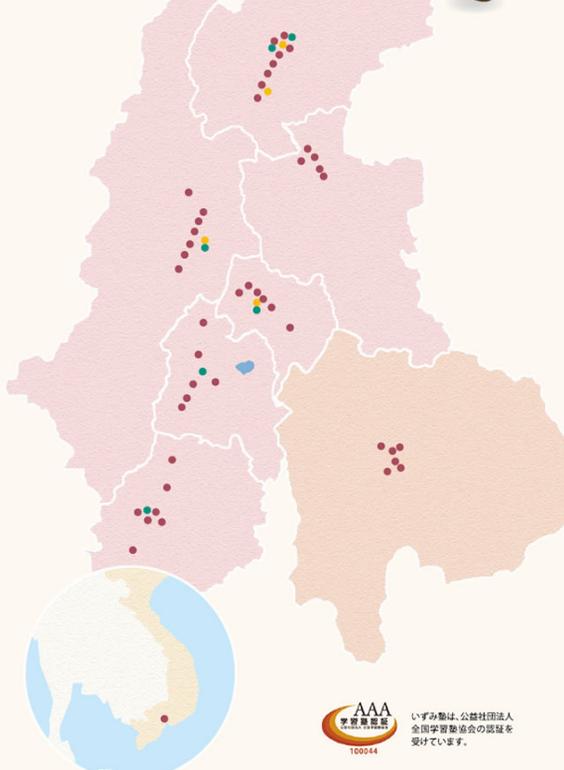
博覧会では残念ながら話題性ばかりが先行したようです。しかも各地の博覧会に出品されましたが、最後はドイツで行方不明に。しかし大阪市立科学館が 1992 年にレプリカを制作し、2008 年にはコンピュータ制御の実物大の学天則を完成させました。今も同館で見ることができます。

現在、より進化した「ヒトとともにあるロボット」が多く登場していますが、100 年近くも前にその先駆けの存在となるロボットがいたことは驚きの一言。西村博士の想いが、これからも受け継がれていくといいですね。



画像提供：松尾宏、大阪市立科学館

いずみ塾・ベルーフアカデミー・東進衛星予備校は、全ての子どもたちに広く学習の場を提供していきます。



編集後記

制作物は、いわば個々の集合体ですが、単に集まった以上の姿になるものです。たとえば新聞は文字がびっしり並んでいますが、どの部分も全部文章になっており、重厚な存在感があります。たとえば音楽は多くの楽器で不思議な調和を作っていますが、個々の楽器の音に注目すると、新たな表情が見えたりします。いくつもの1つ1つで構成された全体が、読む人それぞれに独自の表情を見せられるなら本望です。ただアニメなどで登場人物が雑誌とか読んでると、「あの雑誌も誰かが綿切に追われて作ったんだろな」とか考えてしまうから少し病的かもしれません。

長野	北野校	026-219-1820
	長光寺下校	026-219-1730
	善光寺下校	026-267-6633
	尾張部校	026-256-6633
東信	上田西原校	0268-71-5453
	上田東原校	0268-24-0543
	上田久平校	0268-28-0208
	佐野沢校	0267-88-6064
松本	豊科校	0263-73-6445
	信大前校	0263-87-6584
	つかま校	0263-87-3175
	南松本駅前校	0263-87-3070
諏訪	岡下谷駅前校	0266-23-9412
	上諏訪校	0266-28-8335
	下諏訪南校	0266-53-6886
	茅野駅前校	0266-57-0288
上伊那	富士見校	0266-82-6700
	辰野校	0266-62-7601
	箕輪校	0266-44-1244
	伊那那根校	0265-70-5867
下伊那	宮田校	0265-71-7477
	松川校	0265-82-4384
	高森校	0265-85-3370
	飯田校	0265-36-2697
甲府	伊賀良校	0265-35-7611
	上飯田松尾校	0265-22-1814
	阿智校	0265-49-8350
	甲府池田校	0265-48-5288
IZUMIJUKU	甲府昭和校	0265-21-7755
	大里校	0265-43-3790
	清水新厩校	055-225-5431
	ウエルクス山の手通り校	055-288-0148
企業大学	飯田松尾校	055-288-9760
	上諏訪駅前校	055-234-5668
	飯田上郷校	055-255-1008
	飯田上郷校	0551-30-9015

visitanam IZUMIJUKU 08-3517-1299

企業大学	長野校	026-225-9779
	篠ノ井駅前校	026-285-0186
	松本駅前校	0263-88-6355
	上諏訪駅前校	0266-75-1192

東進衛星予備校	北野校	026-217-5820
	善光寺下校	026-217-6586
	松本駅前校	0263-36-6561
	上諏訪駅前校	0266-57-5861

【いずみ塾本部】
株式会社アイキューブ/長野県茅野市塚原1-3-21



ベルーフアカデミー BERUF ACADEMY

東進衛星予備校

平均点からトップ校へ合格！ 0120-72-8655

■フリーダイヤル受付時間(月曜~土曜)/10:00~21:00
■校舎受付時間(火曜~土曜)/16:00~22:00

http://izumijuku.co.jp いずみ塾
http://beruf-acad.jp ベルーフアカデミー